

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		車両管理事業		担当課	総務市民課					(3) 指標の推移								
				担当係	地域振興係					活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	1	1	1	1			ア	車検台数	台	7	7	8	7	7	7
(個別目標)	1	効率的で質の高い行政経営が推進されるまち	主な費目	需用費、役務費、使用料及び賃借料、公課費					イ	修繕件数	件	15	20	20	20	20	20	20
(施策)	2	行政組織の効率化	対象	公用車、職員					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
(基本目標)	総合戦略		事業期間	昭和44年度～ 年度 ( 年間)					ア	公用車台数	台	12	12	12	12	12	12	12
(施策)										イ	公用車利用回数	回	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価									
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価									
年間 トータル コスト	財源内訳	千円							有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>								
	国県支出金	千円																
	その他特定財源	千円																
	一般財源	千円	1,929	1,948	2,890	2,600	2,600	2,600										
	事業費計 (A)	千円	1,929	1,948	2,890	2,600	2,600	2,600										
	所要人員 (年間)	人	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100										
人件費概算 (B)	千円	560	560	560	560	560	560	効率性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>									
(A) + (B)	千円	2,489	2,508	3,450	3,160	3,160	3,160											
(2) 事業概要										達成度 評価								
事業目的	公用車を集中管理することにより管理が行き届き、利用する職員が公用車を安全快適に運転できる。																	
事業内容	集中管理している公用車を利用する職員が常時快適に利用できるように維持管理 (車検・修理等) する。									<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車を利用する職員が安全快適に運転できた。</li> <li>公用車の故障等による業務停滞を防ぎ効率的に運営ができた。</li> <li>毎日の運転日誌の確認や例月点検により、公用車の集中管理により維持管理ができた。</li> <li>インフラの整備により公用車の予約や利用状況を各課端末から確認ができるようになり公用車管理事務の効率化が図られた。</li> </ul>								
開始経緯	昭和44年庁舎建築の開始と同時に車両管理事業も開始された。また、市町村合併により支所の公用車の台数は減となったが、インフラの整備により公用車の予約や使用状況を各課端末から確認できるようになり公用車管理事務の効率化が図られている。																	
実施状況	(1) 公用車の燃料や維持管理費の支払業務 (2) 交通事故や修繕等の不具合発生時の対応 (3) 車両損害共済の更新手続き (4) 公用車の車検 (5) 公用車の運転日誌の確認 (6) 公用車の例月点検 (7) 公用車の更新及び廃車									<ul style="list-style-type: none"> <li>車検等には経費を伴うが日頃からの点検により突出した経費等がないように注意する必要がある。</li> <li>また、公用車の老朽化による更新を計画的に行う必要がある。</li> </ul>								
成果	毎日の運転日誌の確認や例月点検により公用車の状態を管理し、公用車の車検や修繕等、適切な管理を行い利用する職員が公用車を安全快適に運転することができた。																	
課題	車検等には経費を伴うが日頃からの点検により突出した経費等がないように注意する必要がある。また、公用車の老朽化による更新を計画的に行う必要がある。																	

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		庁舎管理事業		担当課	総務市民課					(3) 指標の推移																
				担当係	地域振興係					活動指標 (実施状況)		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度								
				予算科目	会計	款	項	目	備考			(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)									
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	7	<行財政>市民とともに歩む「ムダ」のない経営	予算科目	1	2	1	3		ア	修繕及び委託件数	件	11 22	20 9	20 16	20	20	20								
(個別目標)		1	効率的で質の高い行政経営が推進されるまち	主な費目	需用費、役務費、委託料、使用料及び借借料					イ	清掃回数	回	150 150	150 148	150 148	150	150	150								
(施策)		2	行政組織の効率化	対象	市民、職員					成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)								
(基本目標)	総合戦略			事業期間	44 年度～ 年度 ( 年間)					ア	苦情件数	件	0 0	0 0	0 0	0	0	0								
(施策)										イ																
(1) 総事業費の推移		単位		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価																
				(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)	所管課による評価																
年間 事業 内訳 コスト	財源内訳	千円								有効性 評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズ</li> <li>事業の効果</li> <li>政策との整合性</li> <li>事業を廃止の影響</li> <li>類似事業との連携</li> <li>公平性</li> </ul>															
	国県支出金	千円																								
	その他特定財源	千円																								
	一般財源	千円	10,628	6,878	6,777	7,500	7,500	7,500																		
	事業費計 (A)	千円	10,628	6,878	6,777	7,500	7,500	7,500																		
	所要人員 (年間)	人	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200																		
人件費概算 (B)	千円	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120	1,120																			
(A) + (B)	千円	11,748	7,998	7,897	8,620	8,620	8,620			<ul style="list-style-type: none"> <li>事業効果向上</li> <li>事業費削減</li> <li>事務の効率化</li> <li>費用対効果</li> <li>財政負担の必要性</li> <li>関係者との連携</li> </ul>																
(2) 事業概要																										
事業目的	庁舎利用者が庁舎を安全に快適に利用できる。																	効率性 評価	庁舎の維持管理及び各設備の保守点検業務委託並びに庁舎清掃業務委託が主な事業費であり削減余地はない。							
事業内容	(1) 庁舎設備の維持管理 (2) 各設備の保守点検業務委託及び庁舎清掃業務委託 (3) 庁舎の利用者が常時快適に利用できるように整理整頓する。																									
開始経緯	昭和44年庁舎建築により開始され、平成18年1月の合併に伴い規則が制定された。																	達成度 評価	庁舎設備の維持管理や保守点検業務委託及び庁舎清掃業務委託、庁舎内外の整理整頓を行い庁舎利用者が庁舎を安全に快適に利用できた。							
実施状況	(1) 庁舎の光熱水費や維持管理の支払業務 (2) 修繕等不具合発生時の対応 (3) 業務委託契約の締結 (4) 建物損害共済の更新手続き (5) 庁舎備品の購入及び廃棄 (6) 庁舎の清掃及び整理整頓 (7) 行政財産貸付 (8) 修繕に伴う事務処理等																									
成果	庁舎設備の維持管理や保守点検業務委託及び庁舎清掃業務委託、庁舎内外の整理整頓を行い庁舎利用者が庁舎を安全に快適に利用できた。									改革改善案	拡充	現状維持	○ 改善	効率化	廃止終了											
課題	庁舎及び庁舎設備等が老朽化し、修繕が増加傾向にある。									庁舎及び庁舎設備等の長寿命化を図るため、年間における点検等を徹底する。																

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		松山地域定住促進住宅用地分譲事業		担当課	総務市民課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度							
				担当係	地域振興係				活動指標 (実施状況)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)						
				予算科目	会計	款	項	目	備考														
まちづくりﾌﾟﾗﾝ (基本目標)	振興	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち	予算科目	1	2	1	4		ア	販売PR	回	2 0	2 1	2 1	2 2	2 2	2 2					
(個別目標)	計画	1	憩いにあふれ住みたくなるまち	主な費目	役務費、委託料、工事請負費						イ	維持管理 (伐採等)	回	8 2	8 2	8 2	6 6	6 6	6 6				
(施策)	体系	2	移住や交流の促進	対象	定住者、住宅を希望する者						成果指標 (成果・効果)		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)				
(基本目標)	総合戦略	2	ひとや企業とのつながりを築く	事業期間	H13 年度～ 年度 ( 年間)						ア	販売実績数	件	5 1	4 2	5 0	5 5	5 5	5 5				
(施策)	戦略	2	移住定着拡充プロジェクト							イ	移住定住者数	人	20 5	16 4	20 0	20 20	20 20	20 20					
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価												
年間 トータル コスト	事業費	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	本事業は土地利用促進に基づく宅地の整備したものであるため、振興計画の対策体系と結びついている。また、分譲地を整備して販売PRに努めていけば、松山地域の人口増につながる。												
	財源内訳	千円																					
	国県支出金	千円																					
	その他特定財源	千円																					
	一般財源	千円	2,907	19,642	1,148	1,000	1,000	1,000															
	事業費計 (A)	千円	2,907	19,642	1,148	1,000	1,000	1,000															
人件費	人	0.150	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	志布志市への定住が進むことにより、まち・人が元気になり、地域が活性化される。また、松山地域の人口増につながる。													
所要人員 (年間)	人	0.150	0.100	0.100	0.100	0.100	0.100																
人件費概算 (B)	千円	840	560	560	560	560	560																
(A) + (B)	千円	3,747	20,202	1,708	1,560	1,560	1,560	1,560	達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	令和2年12月、令和3年4月、7月、尾野見地区3区画販売。 令和3年11月末時点で、なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)。 今後は、なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)及び計画中の新橋地区(3区画)販売PRに努めなければならない。												
(2) 事業概要																							
事業目的	志布志市への定住が進むことにより、まち・人が元気になり、地域が活性化される。また、松山地域の人口増につながる。							必要性 評価	令和2年12月、令和3年4月、7月、尾野見地区3区画販売。 令和3年11月末時点で、なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)。 今後は、なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)及び計画中の新橋地区(3区画)販売PRに努めなければならない。														
事業内容	(1) 平成17年度、泰野地区(なのはな団地)住宅用地販売開始。(1区画残) (2) 平成28年度、泰野地区(星美ヶ丘)住宅用地販売開始。(完売) (3) 令和元年度、尾野見地区(有野)住宅用地7区画販売開始。(2区画残) (4) 令和2年度、新橋地区(前田)定住促進住宅用地測量設計委託及び令和3年度、新橋地区(前田)定住促進住宅用地造成工事及び給水施設工事(当初予算計上)。(5) 未販売区画等の維持管理																						
開始経緯	平成13年度に松山地域の活性化及び過疎化による人口減の歯止めとするため定住用地を新橋地区・尾野見地区に造成し、町内外の方々に定住していただくことを目的に平成14年度より販売を開始した。その後、市町村合併により新市に引き継がれた。							改革 改善案	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>○</td> <td>現状維持</td> <td></td> <td>改善</td> <td></td> <td>効率化</td> <td></td> <td>廃止終了</td> </tr> </table>						拡充	○	現状維持		改善		効率化		廃止終了
拡充	○	現状維持		改善		効率化									廃止終了								
実施状況	(1) 泰野地区(なのはな団地)住宅用地販売。(1区画残) 尾野見地区(有野)住宅用地販売。(1区画残) (2) 令和2年度、新橋地区(前田)定住促進住宅用地測量設計委託及び令和3年度、新橋地区(前田)定住促進住宅用地造成工事及び給水施設工事。令和4年度より3区画販売開始。(3) 未販売区画等の維持管理																						
成果	令和2年12月、令和3年4月、7月、尾野見地区3区画販売。 令和3年11月末時点で、なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)。 なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)等の維持管理。							なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)及び計画中の新橋前田地区(3区画)販売PRに努めなければならない。															
課題	なのはな団地(残り1区画)尾野見地区(残り1区画)及び計画中の新橋(前田)地区(3区画)販売PRに努めなければならない。																						

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		観光施設管理事業					担当課		(3) 指標の推移										
							総務市民課		地域振興係		活動指標 (実施状況)		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
							担当係		単位		(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)			
							地域振興係				(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)			
							会計 科目												
							1 7 1 3												
							備考												
							項目												
							備考												
まちづくりプラン (基本目標)	振興計画体系	2	<生活環境>自然や風土と共生する安心で豊かなまち					予算科目			ア	修繕及び委託件数	件	3	3	3	3	3	3
(個別目標)	1	憩いにあふれ住みたくなるまち					主な費目	需用費、役務費、委託料		イ	清掃回数	回	72	72	72	72	72	72	72
(施策)	4	公園・緑地の整備					対象	市民		成果指標 (成果・効果)		単位	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)	
(基本目標)	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる								事業期間		H7 年度～	年度 ( 年間)	ア	苦情件数	件	0	0	0
(施策)	1	快適な生活支援プロジェクト									イ								
(1) 総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	(4) 評価		所管課による評価								
			(実績・決算)	(実績・決算)	(実績・決算)	(計画・予算)	(計画・予算)	(計画・予算)											
年間 事業 内訳 コスト	財源内訳	千円							有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	松山支所管内にある観光施設の維持管理及び清掃業務を行ったことにより観光施設利用者が施設を快適に利用できた。								
	国県支出金	千円																	
	その他特定財源	千円																	
	一般財源	千円	3,241	4,353	2,945	3,000	3,000	3,000											
	事業費計 (A)	千円	3,241	4,353	2,945	3,000	3,000	3,000											
	所要人員 (年間)	人	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050	0.050											
人件費概算 (B)	千円	280	280	280	280	280	280	効率性 評価	・事業効果向上 ・事業費削減 ・事務の効率化 ・費用対効果 ・財政負担の必要性 ・関係者との連携	観光施設利用者から利用金徴収もなく公平・公正に利用してもらっている。									
(A) + (B)	千円	3,521	4,633	3,225	3,280	3,280	3,280												
(2) 事業概要												達成度 評価	・数値目標 ・目指す状況 ・実現性 ・情勢、環境の変化 ・事業期間	松山支所管内にある観光施設の維持管理及び清掃業務をすることにより観光施設利用者が施設を快適に利用できた。					
事業目的	観光施設利用者が施設を快適に利用できる。																		
事業内容	松山支所管内にある観光施設の維持管理及び清掃業務。																		
開始経緯	旧松山町で城山総合公園内の松山城址展望台は昭和61年度から62年度、大谷山自然公園は平成7年度に設置され開始された。その後、市町村合併により新市に引き継がれた。																		
実施状況	(1) 観光施設の光熱水費や維持管理費の支払業務 (2) 修繕等不具合発生時の対応 (3) 業務委託契約の締結 (4) 施設損害共済更新手続き (5) 日本庭園陥没復旧作業等																		
成果	松山支所管内にある観光施設の維持管理及び清掃業務をすることにより観光施設利用者が施設を快適に利用できた。										改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了		
課題	適切に維持管理されているが、多少施設の老朽化が進んでいる。										引き続き観光施設利用者が施設を快適に利用できるように、松山支所管内にある観光施設の維持管理及び清掃業務に努める。								

令和 5 年度 事務事業マネジメントシート

作成日 令和 5 年 7 月 1 日作成

事務事業名		地域活性化事業（秋の陣まつり事業補助金）		担当課	総務市民課				(3) 指標の推移		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
				担当係	地域振興係				活動指標（実施状況）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)
まちづくりﾌﾟﾗﾝ （基本目標）	振興計画体系	3	<産業経済>大地の力と海の恵みを生かした魅力あふれるにぎわいのまち	予算科目	会計 1	款 7	項 1	目 3	備考	ア	回	16 12	16 10	16 11	16	16	16
（個別目標）	4	地域資源を生かした観光のまち	主な費目	負担金補助及び交付金				イ	人	200 125	200 112	200 110	200	200	200	200	
（施策）	1	観光資源の整備、活用	対象	市民				成果指標（成果・効果）		単位	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	(目標) (実績)	
（基本目標）	総合戦略	4	魅力的で、安心して暮らせるまちをつくる	事業期間	H1 年度～ 年度（ 年間）				ア	人	50,000 0	50,000 0	50,000 3,000	50,000	50,000	50,000	
（施策）	5	観光パワーアッププロジェクト	イ		人	350 0	350 0	350 100	350	350	350	350	350	350			
(1) 総事業費の推移		単位	2年度 (実績・決算)	3年度 (実績・決算)	4年度 (実績・決算)	5年度 (計画・予算)	6年度 (計画・予算)	7年度 (計画・予算)	(4) 評価		所管課による評価						
年間 トータル コスト	事業費	国県支出金	千円						有効性 評価	・市民のニーズ ・事業の効果 ・政策との整合性 ・事業を廃止の影響 ・類似事業との連携 ・公平性	・平成元年度から継続してきたイベントであり開催時期も定着してきている。また、年々内容が充実してきており県内外からの来場者も増加している。 ・市の三大イベントとしてそれぞれのまつりに由来があり、現時点での統廃合は難しい。						
	財源内訳	その他特定財源	千円														
	一般財源	千円	0	0	3,150,000	5,832	5,832	5,832									
	事業費計 (A)	千円	0	0	3,150,000	5,832	5,832	5,832									
	人件費	所要人員 (年間)	人														
	人件費概算 (B)	千円	0	0	0	0	0	0									
(A) + (B)	千円	0	0	3,150,000	5,832	5,832	5,832										
(2) 事業概要																	
事業目的	豊かで住みよい地域づくりを目指して、人づくり、イベントを柱とした市民総参加による地域活性化事業を推進し、松山地区を発信源とした産業の発展を図る。																
事業内容	大隅の國やっちく松山藩秋の陣まつりの開催 実行委員会及びやっちく定例会議の開催																
開始経緯	平成元年「松山の名前も場所も知らない県民が多い」「独自の発想で活動する場がない」等の意見からむらおこし若者会が発足し、自分たちの力で手づくりの祭りをしたいとの意見が出され、文治4年（1188年）に松山城を築城した平重頼の末孫である現代の若者たちが知恵と勇気を出し尽くし、松山町に新たな活力と富を呼び起こしていこうという設定で、大隅の國やっちく松山藩第1回「秋の陣まつり」を開催した。																
実施状況	昨年に引き続き令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止により秋の陣まつりは中止となった。例年であれば、前夜祭、本祭の2日間開催される。内容としては、舞台発表、奉納武者行列、野菜やサムライ鍋等の大盤振舞い、子供広場、陣馬そり競争等充実した内容である。																
成果	昨年は新型コロナウイルスの感染拡大防止により秋の陣まつりは中止となったが、毎月1回のやっちく定例会議において、イベント等の内容の見直しを行い、開催規模を縮小し、道の駅の野外ステージを中心に11月13日（日）のみ開催した。正式な秋の陣まつりではないが、とにかく開催することができた。来年度は通常の規模の第32回秋の陣まつりを開催することが目標である。																
課題	新型コロナウイルスの感染拡大により協賛金減少等心配であるが、まつりの質を落とさないよう、やっちく定例会議において、イベント等の見直しを行い、今後も検討していく必要がある。																
										改革改善案	拡充	○	現状維持	改善	効率化	廃止終了	